

令和5年度環境保全報告書

住友ゴム工業株式会社

① 当該年度の重点取組目標・計画の実施状況

ア. 地球温暖化対策【温室効果ガスの抑制】

神戸市の目標である2030年に2013年比60%削減に向けて、燃料・電力の省エネルギー、太陽光発電導入、燃料転換、グリーン電力の購入などを通じてCO₂排出量の削減に取り組んでいます。

2023年度のCO₂排出量は『3,086 t-CO₂』となり、前年比31%減少しました。主な要因は、2023年10月より神戸本社、2024年1月からタイヤテクニカルセンターを含む技術研究地区の購入電力を再生可能エネルギー由来の電力に切り替えたことです。電力使用量は、下記「イ. 省エネルギーの推進」に記載の通りほぼ同等です。今後、2030年目標に向けて省エネ活動をさらに推進します。

項目		2013年 (基準年)	2021年	2022年	2023年
CO ₂ 排出量	ガソリン、A重油、軽油 (t-CO ₂)	0	1	3	1
	都市ガス (t-CO ₂)	440	362	368	149
	※1 電気 (t-CO ₂)	2,833	3,554	3,921	2,567
	その他のガス (t-CO ₂)		249	181	369
	合計 (t-CO ₂)	3,273	4,166	4,473	3,086

※1 バイオマス利用のグリーン電力の購入量を控除

イ. 省エネルギーの推進

当社では各エネルギー使用量の削減に取り組んでいます。2009年に燃料転換（A重油→都市ガス）を実施し、都市ガスの使用量は一旦増加しましたが、その後改善に取り組み削減しています。（2010年以降A重油・軽油は非常用発電機燃料として使用）2013年以降、電力使用量は、新技研館の竣工、ダンロップスポーツ社との合併、大型試験設備の導入などにより大幅増加しています。対前年では、電気使用量はほぼ同等、都市ガス使用量は省エネ活動により56%減少しました。

項目		2013年 (基準年)	2021年	2022年	2023年
ガソリン、A重油、軽油	使用量(L)	0	236	1,200	400
都市ガス	使用量(m ³)	190,582	161,323	164,029	72,788
電気	※ 購入量(kWh)	8,590,062	15,102,359	15,207,109	15,061,987

※バイオマス利用のグリーン電力を含む

ウ. 埋立廃棄物量の削減、リサイクルの推進

目標である「ゼロエミッション※の維持」は、達成できました。

開発試作品のリサイクル、廃プラスチック類のリサイクル、建設廃材のマテリアルリサイクルの推進などに取り組み、目標を達成しました。

今後もゼロエミッションの維持に取り組めます。

※ゼロエミッション：廃棄物埋立率(廃棄物発生量に対する直接埋立廃棄物量の比率)が1%未満

項目	2013年	2021年	2022年	2023年
廃棄物埋立率 (%) (直接埋立廃棄物量/廃棄物発生量)	1.0	0.4	0.0	0.0

② 公害防止対策に係る報告

ア. 目標達成状況と目標達成のために講じた措置・対策

目標項目		目標達成状況	目標達成のために講じた措置・対策
大気汚染防止	対象施設無し (都市ガス燃料の吸収式冷温水機を2022年3月に廃止)		
下水道戸条市例	排水水質規制値の遵守	排出にかかる目標値を全ての測定結果が満たしていました。 別表1参照	排水処理施設の適正な維持管理に努めるとともに、排水の汚濁状態測定を計画的に実施し、規制値の遵守状況を確認しました。
び騒音庫県制条法例及	騒音規制値の遵守	騒音にかかる目標値を全ての測定結果が満たしていました。 別表2参照	騒音発生施設の適正な維持管理に努めるとともに、騒音測定を計画的に実施し、規制値の遵守状況を確認しました。
び振動庫県制条法例及	振動規制値の遵守	振動にかかる目標値を全ての測定結果が満たしていました。 別表3参照	振動発生施設の適正な維持管理に努めるとともに、振動測定を計画的に実施し、規制値の遵守状況を確認しました。

別表1 排水に係る水質測定結果

項目	測定値		規制値
	Min.	Max.	
水素イオン濃度	6.3	7.8	5~9
鉛及びその化合物	0.01未満	0.01	0.1mg/L以下
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	0.0005未満	0.0005未満	0.005mg/L以下
亜鉛及びその化合物	0.03	0.82	2mg/L以下

別表2 騒音に係る測定結果

時間帯	測定値 (5ポイント)		規制値 〔dB〕
	Min.	Max.	
朝 (6時-8時)	58	70	70以下
昼 (8時-18時)	63	70	70以下
夕 (18時-22時)	56	67	70以下
夜間 (22時-6時)	48	60	60以下

別表3 振動に係る測定結果

時間帯	測定値 (5ポイント)		規制値 〔dB〕
	Min.	Max.	
昼間 (8時-19時)	28	42	65以下
夜間 (19時-8時)	25未満	43	60以下

③ 地球温暖化対策に係る報告

ア. 2023年度における電気・燃料等の使用量、温室効果ガス排出量

活動の区分	燃料・焼却物等の種類	使用量等	単位	単位発熱量 (MJ)	排出係数	排出量	温暖化係数	合計 (CO ₂ 換算)
					kg-CO ₂ /MJ	kg-CO ₂		kg-CO ₂
燃料の使用	原料炭		kg	28.7	0.0902		1	
	ガソリン	400	ℓ	33.4	0.0686	916	1	916
	A重油	0	ℓ	38.9	0.0708	0	1	0
	B重油		ℓ	41.8	0.0741		1	
	軽油	0	ℓ	38.0	0.0689	0	1	0
	LPG		kg	50.1	0.0598		1	
	都市ガス	72,788	Nm ³	40.0	※3 0.0513	149,361	1	149,361
	その他 (廃棄物等)						1	
※1 電気事業者から供給された電気の使用	一般電気事業者	8,306,571	kWh		※2 0.309	2,566,730	1	2,566,730
熱供給事業者から供給された熱の利用			MJ		0.067		1	
合計						2,717,008		2,717,008

※1 グリーン電力使用分を控除： 15,061,987 - 6,755,416 = 8,306,571 kWh (購入電力量) - (グリーン電力)

※2 2023年度調整後排出係数 (事業者全体) 0.309kg-CO₂/kWh

電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用) 環境省・経済産業省公表、-R4年度実績- R5.1.2.22 より

※3 都市ガスの排出係数については算出時点未公表であったため、環境省指定の代替値 (2.05 tCO₂/千m³) を使用。

イ. 当該年度の計画達成状況

温室効果ガス	排出量目標 (kg-CO ₂)		排出量実績 (kg-CO ₂)		基準年比(%)	
	今年度 (2023年度)	2030年度	基準年度 (2013年度)	今年度 (2023年度)	今年度	2030年度
二酸化炭素	4,249,570	206,000	3,273,000	2,717,008	83.0%	6.3%
メタン	11,974	8,032		3,946		
一酸化二窒素	1,639	1,100		540		
HFC	166,165	74,864		364,783		
PFC						
六フッ化硫黄						
合計	4,429,347	289,996	3,273,000	3,086,277	94.3%	8.9%

ウ. 目標達成のために講じた措置・対策の達成状況

	分野	項目	目標	実施状況
1	グリーンエネルギー利用	太陽光発電の利用の継続	前年実績同等の継続	43,862kWh 前年比98%
		バイオマス利用のグリーン電力購入の継続	前年実績同等の継続	6,755MWh 前年比169% 電力購入量の100% (令和6年1月より)
2	エネルギー使用の合理化	空調機の室内温度の適正化、昼休みの一斉消灯	徹底	徹底
		LED照明などの省エネタイプ照明の導入拡大	電力削減：60,000kWh	50,564kWh削減
		空調機の更新	電力削減：3,000kWh 都市ガス削減：160m ³	電力：電化により増加 (ただし1月より再エネ切替のためCO ₂ 排出量はゼロ) 都市ガス：91,585m ³
		その他 (エア-漏れ対策、電気の小改善)	-	52,549kWh
		その他ムダ排除活動	徹底	徹底

④ 公害防止対策、地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る報告

2023年度の環境保全活動に係る具体的実施内容

	分野	項目	細目	目標	実施状況
1	環境管理システムの維持向上	ISO14001グローバル統合認証の維持	—	2023年定期維持審査の受審、認証継続	達成 2023年2月、9月維持審査を受審、認証継続
		コーポレート監査、内部監査の実施	—	本社及び製造拠点で計画的に実施(1回/年)	達成(計画通り実施)
2	プラスチックに係る資源循環の促進	タイヤラベル、店頭POP等の削減 テニスボール等の梱包プラの削減 産業品の製品包装プラ等の削減	タイヤラベル、店頭POP削減 テニスボール等の梱包プラ削減 産業品の製品包装プラ削減	2030年に2019年比40%削減	2019年比88% 基準年比減少、引き続き削減の取り組みを強化
3	廃棄物の適正処理・減量	ゼロエミッションの維持	維持	維持(1%未満)	達成(0%)
		分別回収	缶、瓶、紙などの分別	徹底	達成(徹底)
4	自動車対策	エコカー(HB車+EV)の導入比率向上	社有車の低公害車・低燃費車比率を高める	前年実績以上	達成(45%で対前年1ポイント増)
		マイカー通勤の抑制	原則禁止の維持	原則禁止の維持	達成(100%)
		出張時の公共交通機関の利用促進	—	徹底	達成(徹底)
5	緑化活動	植樹「郷土の森づくり」	—	計画的な植樹、下草刈り、伐採、間伐を行い、理想的な里山の整備と維持を行う。	達成(以下の計画通り) ・活動拠点: 36ヶ所 ・植樹: 31回 ・整備: 912回 ・延参加人数: 5,104名